

マチノブカツ 「七高祭のその後」

「気付き」から、新たな「動き」へ

令和5年度の七高祭で、高校生それぞれが興味のあるテーマで集まり作った「マチノブカツ」。
そこで生まれた「気付き」から始まった活動が地域に根付き、新たな動きを生んでいます。



CCC 本庄の活動の様子

七高祭がなければ、本庄の人とは関わらず駅と学校の往復で終わっていたかもしれません。

3年間関わった七高祭は、私にとってさまざまな大人と関わり刺激を得ることのできる場であり、いろいろな発想を受け入れてくれる場でした。



秋山 友花さん
早稲田大学本庄高等学校

Club 本庄（CCC 本庄）」を立ち上げ、今日まで活動を続けています。

これまで気付かなかったごみの多さに気付いたり、多様な価値観を持つ人と話せたりするなど、CCC 本庄の活動はまちを知り、まちの人とつながり、そしてさまざまな人が関わるきっかけを作っています。

私たちでもできるかも、という高校生たちの「気付き」、その気付きが今、まちの中で新たな「動き」へとつながっています。



今年の合同文化祭では
ブース発表も行いました



都内で行われた CCC に
参加する高校生たち

七高祭から、高校生自身の活動へ

令和5年度に立ち上がったマチノブカツのひとつ「sustaina 部」。一人ひとりがごみ問題を自分ごととして考え、それぞれのやり方でアクションを起こして欲しい、という思いのもと活動しています。

テーマについて考える中で、東京都内で行われているごみ拾い活動とコーヒータイムを組み合わせ、まちの人びとのつながりを生み出す「Cleanup Coffee Club」の存在を知り、秋山さんをはじめとしたメンバーが参加。その活動に感銘を受けた高校生たちで「Cleanup Coffee

「動き」が新たな「つながり」へ

今年初めて七高祭に参加しましたが、他校生、大人たち含めていろいろな人と接点をもてたのがうれしかったです。

地元は違いますが、いつも過ごしている本庄に七高祭が終わった後も CCC をとおして関わることができてよかったです。

大塚 隼平さん
早稲田大学本庄高等学校

今年初めて七高祭に参加した大塚さんは、1年間の活動をととして、さまざまな人と関わる中で、さらに深く本庄に関わりたと思ったそう。

そんな時に CCC 本庄の存在を知り、その活動に自ら参加。CCC の活動について聞くと、「心の居場所のような感じがしました」と、笑顔で語ってくれました。

秋山さんたち sustaina 部がまちの中で始めた活動が、次世代の高校生たちと、まちの間に新たな「つながり」を生んでいます。



CCC 本庄に参加し
ゴミ拾いをする大塚さん

寄り添う先生から見た「七高祭」

1年間七高祭を生徒とともに参加させていただきました。

お互いに学年を明かさずにワークショップに参加していたことで、上下関係なくフラットに意見を交せていた姿がとても印象的でした。

また学生・民間・公的機関の距離がとても近く、お互いがより広く、より深く関わり意見を交しながらプロジェクトを進められていたので、「考えたことをしっかりと形にできていた」のが素晴らしいかと思います。

横瀬 隆さん
本庄高等学校 教諭



地域コラボ企画

地元企業等と連携して商品開発等に取り組む「地域コラボ企画」。高校生ならではの「視点」と地域の方々の「知識」が混ざりあい、オリジナリティ溢れる商品が生まれました。

Bakerys Kitchen ohana × 七高祭

七高祭オリジナルパン作り！

地域との関わりを大切に、地元生産者の皆さんとのコラボレーション商品も多数販売してきた ohana さん。

今回は七高祭とのコラボということで、高校生と一緒にオリジナルパンの作製に協力していただきました。

さまざまなパンのアイデアが出るなか



合同文化祭当日、売り場は大盛況！



当日に向け検討会議！

で、最終的には本庄産ブロッコリーを使用した「ブロッコリーハヤシカレーパン」を合同文化祭で販売することに！

当日用意していた約 350 個のパンは、すぐに売り切れ。盛況のうちに販売終了となりましたが、その後、なんと ohana の店舗でもカレーパンを販売していただけることに！

高校生の想いとアイデアが詰まったカレーパンは、味わたた皆さんの身も心も「おいしさ」で満たしてくれました。



高校生独自の視点で
商品企画を行う

自分たちでは気づかない、独自の着眼点で取り組んでくれて、楽しかったです。スタッフにとってもいい刺激になったので、機会があれば毎年一緒に取り組んでいきたいです。

久保田 浩司さん
Bakerys Kitchen
ohana オーナー



本庄農業女子 × NINOKURA × 七高祭

日頃、高校生世代と交流することはめったにないので、「農業に興味を持ちました」と言ってもらえてうれしかったです。

元気に先陣を切って取り組む生徒、物静かだけどフォローが万全な生徒など、それぞれができることを一所懸命に取り組んでいたのが印象深かったです。

牧野 涼子さん
こだまの丘農園まきの
(本庄農業女子)



本庄野菜で「ベジフラワー」作り！

今年の七高祭では、本庄野菜の魅力を発信している「本庄農業女子」さんともコラボ！メンバーの牧野さんと高校生で、本庄野菜を使った美しいベジフラワー作りワークショップを合同文化祭の会場で行いました。



本庄野菜を使った「ななっこ」を販売！

また、NINOKURA の小林さんにもご協力いただき、本庄野菜をふんだんに使ったつまみこならぬ七高祭特製の「ななっこ」を高校生とともに考案。

新鮮な本庄野菜のうまみが濃縮された「ななっこ」はまさに絶品。合同文化祭では、来場した多くの方が舌鼓を打ちました。



本庄野菜のうまみが
ぎゅっとつまった「ななっこ」

自ら考えて動く。そんな高校生の姿に、参加した自分自身がとても刺激を受けました。七高祭のような場があることで民間・行政だけではできないことが実現できるのは、まちにとってもすばらしいことだと思います。

小林 由美さん
NINOKURA 蔵主

新鮮な本庄野菜の魅力
余すことなく伝える

